



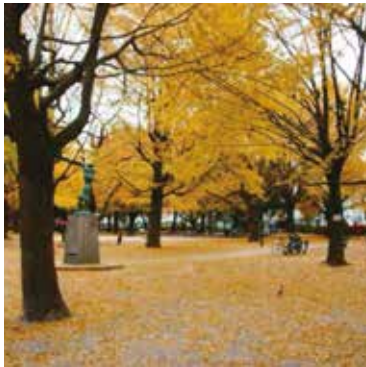
板桥区

～欢迎来到绿色和文化之城～

板桥区

緑と文化のかがやくまちへようこそ





目录

1	区长致辞 区長からのご挨拶
2	板桥区概括 区のあらまし
6	产业 産業
8	特色政策 特色のある政策
11	四季 四季
12	春日活动 春の行事
13	夏日活动 夏の行事
14	秋日活动 秋の行事
15	冬日活动 冬の行事
16	主要设施 主要な施設
18	国际交流城市 国際交流都市
20	传统工艺品 伝統工芸品
22	传统文艺 伝統芸能
24	组织与事务 組織と事務
26	宣言 宣言

目次





区长致辞

欢迎来到板桥区。

板桥区居民对您表示衷心的感谢。

板桥区是一个位于东京23区西北部、人口约为56.2万人的生活城市。区内有旧中山道「板桥驿站」周边的名胜古迹，也有传承了千年历史的德丸・赤塚地区的祭神仪式「田游」等，至今也有很多有形・无形的文化财产。另外，还有以附近商店街为中心的商业，邻近埼玉县的赤塚地区的城市农业，以及荒川沿岸部的工业，是都内为数不多的产业城市。

我们为了给承担着下一代的孩子们留下可以享受富饶自然、国际和平的更好世界，我们积极应对多个课题。本着这样的想法，板桥区以建设人与自然共存的城市为目标，发表了「环境都市宣言」。此外，为了对世界永远和平这一人类共同的愿望积极贡献自己的力量，我们还发表了「平和都市宣言」。

现在，板桥区着眼于打造「成为东京都最想居住的城市」，要实施一些发展战略，来增加生产年龄人口，促进稳定居住。我将从“创造美丽的发祥城市”和“安心安全的城市环境”这2个方面，来建设板桥区的目标城市形象。

板桥区民珍视历史与传统，对自己所生活的城市充满自豪感。我衷心希望板桥区民与各位的交流，能发展为地区与地区间的友情，为世界和平不断做出贡献。

区长からのご挨拶

板桥区へようこそ。

板桥区民は皆さまを心から歓迎いたします。

板桥区は、東京23区の北西部に位置し、人口約56.2万人を擁する生活都市です。区内には、旧中山道「板橋宿」周辺の名所・史跡をはじめ、千年の昔から受け継がれる徳丸・赤塚地域の神事「田遊び」など、有形・無形の文化財が今も数多く息づいています。また、近隣商店街を中心とする商業、埼玉県境に近い赤塚地域における都市農業、荒川沿岸部などの工業が併存しており、都内有数の産業都市としての顔も持っています。

私たちは、次世代をになう子ども達に、豊かな自然環境と国際社会の平和に恵まれたより良い世界を残したいと願いながら、多くの重要な課題に取り組んでおります。こうした認識から、板橋区は人と自然が共生する都市の実現をめざして、「環境都市宣言」を行いました。さらに、世界の恒久平和という人類共通の願いに向けて、私たちの役割を積極的に果たすため、「平和都市宣言」も行いました。

今、板橋区では、将来展望を「東京で一番住みたくなるまちの実現」と見据え、生産年齢人口を増やし定住化を促すための成長戦略を基軸とした施策を展開していく必要があります。私は、区のめざすべき都市像を「魅力創造発信都市」と「安心安全環境都市」の2つの側面から、それらの実現をめざしております。

板橋区民は歴史と伝統を大切に、自分たちの住むまちに誇りを持っています。皆さんとの交流が、地域と地域の友情に発展し、世界平和への貢献として広がり続けることを心から願っております。

Takeshi Sakamoto

区长

坂本 健

区名の由来

区名の由来

根据《延庆本平家物語》的战记文学记载，治承4年（1180年）举兵的源赖朝，曾布阵于“武藏国丰岛之上滝野川之板桥”，这是“板桥”首次作为地名出现，所以至少可以认为在有史料记载的镰仓时代（1185年左右～1333年），“板桥”这一地名就已经存在了。

庆长8年（1603年），德川家康在江户开创了幕府之后，以日本桥为起点的五街道被建设起来。其中在中山道上排名第一的驿站就位于“板桥（下板桥）”，作为大都市江户的出入口，以及周边区域的中心，十分繁荣。而根据江户时代（1603年～1867年）后期的史料《江戸名所図会》中的记载，驿站中流经的石神井上所架设的小桥即是板桥地名的由来。明治22年（1889年）实施町村制时，作为町名使用了地名“板桥”，昭和7年（1932年）东京市扩张时成为区名，并一直沿用至今。



江戸時代の「板橋」
江戸時代の「板橋」



現在の「板橋」
現在の「板橋」

『延慶本平家物語』という軍記によると、治承4年（1180年）に挙兵した源頼朝が、「武蔵国豊島ノ上滝野川ノ板橋」に布陣しています。ここに地名としての「板橋」が初めて現れ、少なくともこの史料が成立したとみられる鎌倉時代（1185年頃～1333年）には「板橋」の地名があったことがわかります。

慶長8年（1603年）、徳川家康によって江戸幕府が開かれると、日本橋を起点とする五街道が整備されました。そのうちの一つ、中山道の第一番目の宿場が「板橋（下板橋）」に置かれ、大都市江戸の出入り口として、また区域周辺の中心的な場として繁栄しました。なお江戸時代（1603年～1867年）後期の史料である『江戸名所図会』には、宿場中を流れる石神井川に架かる小橋が、板橋の地名のおこりであると記されています。

地名「板橋」は、明治22年（1889年）の町村制実施によって町名として採用され、昭和7年（1932年）の東京市の拡張の際に区名となり現在に至ります。

板桥区の歴史

板橋区の歴史

1604年江戸幕府以江户为中心建设而成了五街道，在其中之一的中山道上，作为最大的驿站设立了板桥驿站。驿站以物资的中转和住宿为主要职能，逐渐形成了凝聚各地文化以及物资消费的城市特点。板桥驿站是都市江户的出入口，这里商人往来频繁，再加上受到诸大名参勤交代制度的影响，板桥驿站一度呈现出前所未有的繁荣。

另一方面，川越街道成为了连接自古繁华的川越与江户的重要粮道。当时属于江户近邻农村的板桥区所产的萝卜等商品作物都经此运送。借助于这两大街道，近代的板桥地区得到了迅速的发展。

1914年，池袋～川越间的东上铁路（现东武东上线）开通之后，上板桥、赤塚、成増方面得到了开发。

1932年板桥区随着东京市的扩张得以诞生，此后，虽在战争中因空袭及疏散导致了一时的人口减少，经过战后复建和高度经济增长长期后，板桥区的都市化得到了高速发展，人口也不断增加。

1965年～1974年，曾是田园地带的高岛平地区进行了大规模的住宅开发，都营地下铁6号线（现都营三田线）也已开通。再加上东京地铁有乐町线的延长和JR埼京线的开通，板桥区发展成现在拥有56万人口的城市。

1604年江戸幕府が江戸を中心に五街道を整備し、そのうちの中山道第一の宿場として、板橋宿が設けられました。宿場は、物資の中継、宿泊などを主な機能としますが、各地の文化が集まり、また物資を消費する都市としての性格も持っていました。板橋宿は大都市江戸の出入口であったことから商人の往来も激しく、諸大名に参勤交代の制度がしかれるに及んで、板橋宿はかつてない繁栄を見ました。

一方、川越街道は、古くから栄えた川越と江戸を結ぶ重要な糧道になっていました。当時の板橋区は江戸の近郊農村であり、そこで作られた大根などの商品作物を送るルートになっていました。この二大街道によって、近世の板橋地区は急速な発展を遂げました。

1914年には、池袋～川越間に東上鉄道（現東武東上線）が開通したことにより、上板橋・赤塚・成増方面がひらけました。

1932年には東京市の拡張によって板橋区が誕生し、その後、戦時中の空襲による被災や疎開などのため一時人口の減少を見ましたが、戦災復興と高度経済成長期を通して都市化が急速に進み人口も増加しました。

1965年～1974年には、田園地帯であった高島平地域において大規模な住宅開発が行われ、都営地下鉄6号線（現都営三田線）が開通しました。更に、東京メトロ有楽町線の延長・JR埼京線の開通とあいまって、現在は人口約56万人の都市となっています。

位置・面积・人口

板桥区是日本首都东京为了实现大都市的高效、一体化运营而设置的23个特别区之一，是综合管理与居民切身相关的福利、教育等地区行政的基础性地方公共团体。地理位置上处于东京23区的西北部，与北区・丰岛区・练马区相毗邻。面积为32.17平方公里，在23区中排名第九。

区内主要有四条铁路线路，分别为东武东上线・都营三田线・JR 埼京线・东京地铁有乐町线。主要的干线道路则包括中山道・川越街道・环状7号线・环状8号线・首都高速5号线等。

板桥区的总人口，在2017年1月1日时的数据是557,309人，在东京23区中排名第6。

位置・面積・人口

板桥区は、日本の首都東京という大都市を効率的・一体的に運営するために設けられた23特別区のひとつで、福祉や教育など住民に身近な地域の行政を総合的に担う基礎的な地方公共団体です。東京23区の北西部に位置し、北区・豊島区・練馬区と隣接しています。面積は32.22平方キロメートルで、23区中9番目の大きさです。

区内には、東武東上線・都営三田線・JR埼京線・東京メトロ有楽町線の4本の鉄道路線が走り、主要幹線道路として中山道・川越街道・環状7号線・環状8号線・首都高速5号線などが通っています。

板橋区の総人口は2017年1月1日現在557,309人で23区の中では6番目にあたります。



城市组成

まちなみ

板桥区既有者住宅城市・生活城市的一面，也并存着以近邻商店街为中心的商业、赤塚地区的城市农业、荒川沿岸部分的工业等，是东京都内屈指可数的产业城市。

板桥区，随着城市的发展分为了五个地区，不同地区各有特色和经典之处。

板桥区は、住宅都市・生活都市としての顔を持つ一方、近隣商店街を中心とする商業、赤塚地域における都市農業、荒川沿岸部などの工業が併存し、都内有数の産業都市でもあります。

そんな板桥区は、町の生い立ちによって5つのエリアに分かれ、それぞれのエリアには特徴や見どころがあります。

板桥区

距离江戸日本桥二里半，是过去作为中山道驿站十分繁华的板桥驿站所在地区

板橋エリア

江戸日本橋から二里半、かつて中山道の宿場として栄えた板橋宿があるエリア



石神井川の桜花／石神井川の桜



縁切榎／縁切榎



板橋／板橋

志村区

既有泉水丰富涌出时期的遗迹、名胜、旧迹等，同时又有工业区

志村エリア

崖線沿いに湧水が豊富だったころの遺跡や名所・旧跡が点在し工業地域の顔を併せ持つエリア



志村一里塚／志村一里塚



水上巴士／水上バス



薬師的泉庭園／薬師の泉庭園

常盤台地区

曾作为川越街道的驿站，历经繁华，留存着很多以镇守和旅途安宁为目的的“神社”



安养院／安養院



五棵櫟／五本けやき



冰川神社／氷川神社

常盤台エリア

川越街道の宿場町として栄え、鎮守や道中安寧を目的とした「社」が数多く残るエリア

赤塚地区

自然森林和农地等绿色植被丰富，是史记・文化遗产・文化设施丰富的地区



松月院／松月院



东京大佛／東京大仏



溜池公園／溜池公園

赤塚エリア

自然林や農地などの緑が豊富で、史跡・文化財・文化施設に恵まれたエリア

高島平区

由规划建成的住宅区及河岸沿线的工厂集聚地组成的地区



高岛平住宅区／高島平団地



街边櫟树／けやき並木



十度の宮（舟渡冰川神社）／十度の宮（舟渡氷川神社）

高島平エリア

計画的に形成された住宅地と川沿いの工場集積地から成るエリア

工业

工業

板桥区历经战前战后，实现了发展以印刷、精密机械、钢铁、化学等为中心的工业，作为拥有高度先进技术的都市型产业的代表性集聚地，构建了在东京都内的稳固地位。另一方面，随着全球化的进程、生产地点的转移等，区内的产业结构也发生了很大的变化，进一步发展区内工业成为了新的课题。

板桥区每年会举办一次“板桥产业展览会”，将区内企业的优秀产品和技术聚集在一起，在向区内外广泛宣传的同时，也促进企业间的信息交流和商业往来的活跃化。

板桥区は、戦前戦後を通じて印刷・精密機械・鉄鋼・化学などの工業を中心に発達し、高度先端技術を有する都市型産業の代表的な集積地域として、区内でも確固たる地位を築いています。一方、グローバル化の進展や、生産拠点の移転等により区の産業構造は大きく変化し、区内工業のいっそうの活性化が課題となっています。

板桥区では、年に1回区内企業の優れた製品や技術を一同に集め、区内外に広くPRするとともに、企業間の情報交換や商取引の活性化を図ることを目的とした「いたばし産業見本市」も開催しています。



光学技术应用的精密仪器 / 光学の技術を活用した精密機器

在海外也扩大了市场份额的墨产品 / 海外市场でもシェアを拡大するインキ



板桥产业展览会 / いたばし産業見本市



酵母为主的食品素材 / イーストを始めとする食品素材



各种出版物 / さまざまな出版物



商业

板桥区的商业特点是小型零售业。从业人员规模在4人以下的小型商店很多，这些商店构成了商业街，进行着各种商业活动。现在东武东上线和地铁三田线附近的商店街多数比较繁华，目前已经超过了100处以上了。商店街的规模比较小，属于近邻型商店街。特别在傍晚时分有很多买东西的客人，会很热闹。另外，周六、周日的早上，也有举办早市的地区，早市会销售生鲜食品、日用杂货等特卖品。这些繁华的商业活动，支持着板桥区民的生活。



商業

板橋区の商業は、小売業に特徴があります。従業員規模が4人以下の小規模商店が多くこれらの商店が、商店街を形成し、様々な事業を実施しています。現在の板橋区の商店街は、主に東武東上線や地下鉄三田線の駅前等を中心に多数発達し、その数は100を超えています。商店街の規模は比較的小さい近隣型商店街となっており、特に、夕方に多くの買い物客で賑わいます。また、土曜・日曜日の朝、朝市を実施している地区もあります。生鮮食品、日用雑貨などの特売品が販売されます。活発な商業が、元気な板橋区民の生活を支えています。

农业



交流农园会的摊位／ふれあい農園スタンド

板桥区的农业是以蔬菜栽培为主的旱田耕种，也栽培果树、花卉、苗木等。当地所采摘的新鲜蔬菜，会在早市或菜园前进行销售。提供新鲜安全的农作物、创造与近邻居民交流的场所的“板桥交流农园会”，以及每年举办一次的“板桥农业节(参照14页)”都很有特色。

板橋区の農業は野菜栽培主体の畑作で、果樹や花、苗木なども栽培されています。これらの地元で採れた新鮮野菜は、朝市や庭先などで販売されています。新鮮で安全な農産物を届け、近隣の人々との触れ合いの場を提供することを目的としている「板橋ふれあい農園会」や、年1回開催される「板橋農業まつり(14頁参照)」は特徴的です。

農業

板桥区环境管理系统

1999年，板桥区在东京都的所有自治体当中率先取得了ISO14001认证。即便在全国自治体中，板桥区也排名前5。此后，适用范围依次向中小学等扩展，2003年，区内的所有区立设施都被规划为适用范围内。区政府相当于区内的大事务所，通过管理区内环境，为区民乃至区内各行业树立榜样，提升全区对于环境的意识。

板桥区環境マネジメントシステム

1999年に、板橋区は都内自治体で初めてISO14001の認証を取得しました。これは、全国の自治体でも5番目になります。その後、小・中学校などへ順次、適用範囲を拡大し、2003年には区内の全区立施設が適用範囲に含まれました。区役所は、区内の大事業所であり、区が環境マネジメントに取り組むことで、区民をはじめ、区内事業者への見本となり、環境への意識向上を図っています。



绿色之帘
在窗外种植“丝瓜”、“苦瓜”等藤蔓植物，既能遮挡夏日的强烈阳光，又能抑制室温的上升，宛如一袭自然的窗帘。
緑のカーテン
「ヘチマ」や「ゴーヤ（ゴーヤー）」など、つる性の植物を窓の外に這わせることで、夏の強い陽射しを和らげ、室温の上昇を抑える自然のカーテンです。



酒瓶之街
对酒瓶进行废物利用，用于街道的铺装。
ワインブロック
ワインびんをリサイクルし、通りの舗装に使用したものです。

宝宝站

赤ちゃんの駅



为了帮助带婴儿出门的家长，作为支援措施的一环，将众多保育园・儿童馆・幼儿园等指定为“宝宝站”，外出的家长们为宝宝换尿不湿或喂奶时，可以方便利用这些设施。

乳幼児を抱える保護者の子育てを支援する取り組みの一環として、多くの保育園・児童館・幼稚園などを「赤ちゃんの駅」に指定し、外出中の親子がオムツ替えや授乳のために、気軽に施設を利用できるようにしています。

“宝宝站”旗／「赤ちゃんの駅」フラッグ

街上的老幼病残座

板桥区设置了“街上的老幼病残座”，供高龄者、残障及病弱人士等不能长途跋涉的人休息。

利用回收来的酒瓶制作坐席，每一个坐席大约使用了 100 多个回收来的酒瓶。

板桥区では高齢者や障がい者、病弱などで長く歩くことがつらい人が一休みできる「街のシルバーシート」を設置しています。

シルバーシートは廃ガラスとして回収されたワインビンを利用して作られたもので、1脚につき約100本のワインびんがリサイクルされています。

街のシルバーシート



街上的老幼病残座／街のシルバーシート

全国乡土交流店 “新鲜村”

集合了板桥区交流城市特色商品的复合型试销商店，是汇集了各地美食及传播重要信息的据点。其中各自治体在周末时轮流开展进行宣传的“乡风活动”，广受好评。运营地点位于幸福路大山商店街及上板南口银座商店街。



幸福路大山商店街の新鲜村／ハッピーロード大山商店街のとれたて村

全国ふる里ふれあいショップ「とれたて村」

板桥区の交流都市が集まった複合的なアンテナショップで、各地の美味しいものや、とっておきの情報を発信する拠点です。各自治体が週末に入れ替わりでまちの宣伝にやってくる「ふる里イベント」は、来店者に大好評です。ハッピーロード大山商店街と上板南口銀座商店街で運営しています。

区民选出的 “板桥精品”

由区民推荐当地（地区）长期流行和受喜爱的商品，再经由选定委员进一步进行筛选，最终被定为“区民选出的板桥精品”。

将这些选出的商品作为板桥的魅力点进行广泛宣传，旨在提高人们对板桥生产的商品（日式点心・西洋糕点・面包・小菜咸菜・酒类等）的兴趣，从而促进区内商业的活跃。



精品标记／いっぴんマーク

区民が選んだ「板橋のいっぴん」

地元（地域）で長く愛されて親しまれている商品を、区民に推薦してもらい、その中から選定委員による選考を経て、「区民が選んだ板橋のいっぴん」として選定しています。

選定された商品を板橋の魅力として広くPRすることで、板橋で生産された商品（和菓子・洋菓子・パン・惣菜漬物・酒類など）への興味を高め、区内商業の活性化を図っています。

“板橋縁宿”指从旧中山道的“縁切榎”到“结缘櫓”，在9条商业街都有求签处，人们可以一边享受求签的乐趣一边漫步于旧板桥驿站。2002年迎来了中山道开道400年，当时为了促进商店街和地区的活跃性，有效利用中山道的“板桥驿站”等历史资产，开展了一系列振兴城市的共同活动。之后，作为“板橋縁宿品牌”一直在进行商品开发以及举办板橋縁宿祭等活动。

「板橋縁宿」とは、旧中山道の「縁切榎」と「むすびのけやき」まで、9商店街におみくじ処を設け、おみくじを楽しみながら旧板橋宿を散策ができるというものです。2002年に中山道開道400年を迎えたのを期に、中山道「板橋宿」の歴史資産を活用して町おこしをする共同イベントを実施するなかで、商店街と地域の活性化を図ることを目的に始めました。これ以降、「板橋縁宿ブランド」の商品の開発や板橋縁宿まつりを開催しています。



縁宿地图/縁宿マップ



縁宿求签处/縁宿おみくじ処

博洛尼亚书展 in 板橋 板橋国际儿童图书翻译大赛

从1933年开始，每年都会举办“博洛尼亚书展 in 板橋”，来介绍博洛尼亚捐赠的儿童图书。其中一部分新的儿童图书，会作为“小型的博洛尼亚书展”在板橋区内各图书馆进行巡回展览。另外，在文化之城的板橋，为了更好的接触外国文化，更好的进行国际理解，也征集优秀的外语儿童图书的日语翻译作品，举行“板橋国际儿童图书翻译大赛”。现在有英语和意大利语，也有收到来自全国各地的应征作品。

ボローニャ・ブックフェア in いたばし いたばし国際絵本翻訳大賞

1993年から毎年、ボローニャから寄贈された絵本を紹介する「ボローニャ・ブックフェア in いたばし」を行っています。そのうち一部の新着絵本については、「ミニ・ボローニャ・ブックフェア」として板橋区内各図書館を巡回展示しています。

また、文化のまち板橋では、外国文化に触れ国際理解を育むため、外国語絵本の日本語翻訳作品を募集するコンテスト「いたばし国際絵本翻訳大賞」もを行っています。英語部門とイタリア語部門があり、全国各地から応募があります。



Spring 春

草木萌芽の季節、は象徴着新開始の季節。万葉齊開却又稍纵即逝的満開之櫻、自古以來就是令人流連的美景。春天还会舉行入學典禮和畢業典禮、是相遇與離別的季节。

草木が芽吹く春は、新しい始まりを象徴する季節です。一斉に咲き、はかなく散る満開の桜は、古くから人々を魅了する美しい光景です。春はまた、入学式や卒業式が行われる、出会いと別れの季節でもあります。

Summer 夏

日本の夏天、从阴雨连绵的梅雨季开始。梅雨之后，气温将一路上升，高温多湿的日子一直延续。虽然是难以度过的炎热又潮湿的季节，也有着烟花大会、盂兰盆舞等让人倍感凉爽的日本传统活动。

日本の夏は、雨の降り続く梅雨から始まります。梅雨が開けると気温は一気に上昇し、湿度の高い暑い日が続きます。蒸し暑く過ごしにくい季節ではありますが、花火や盆踊りなど、涼を感じられる日本らしい行事の多い季節でもあります。

The Four Seasons

四季

Autumn 秋

秋天是农作物收获、硕果累累的季节。可以欣赏到天高云淡的晴空，红黄鲜明的魅力红叶。在日本的四季中，秋天最为舒适，也最有乐趣。

秋は農作物の収穫の時期にあたり、実りの多い季節です。高く澄んだ青空と、赤や黄色に色づいた草木の美しい紅葉を楽しむことができます。日本の四季において最も過ごしやすい、趣のある季節です。

Winter 冬

日本の冬天也有零度以下的日子，空气寒冷而澄澈，是个干燥的季节。很多人会到郊外享受滑雪等冬季运动。东京每年会下2、3次雪，却鲜少积雪。

気温が0度を下回ることもある日本の冬は、空気が冷たく澄み、乾燥した季節です。多くの人は郊外にでかけてスキーなどのウィンタースポーツを楽しみます。東京では年に2、3度雪が降りますが、積もることはほとんどありません。

春日活动

赤塚梅花节

每年3月上旬在赤塚溜池公园附近举行梅花节。可以欣赏到冷艳的红梅和高贵的白梅，感受早春的气息。当天，会场附近的乡土资料馆和美术馆等也会举办活动，还会展示日本的传统活动，例如有小学生或地方居民组成的武士游行、驯鹰人放鹰等活动。



板桥城市马拉松

来自全国、超过1万人的跑者将在荒川沿岸的马拉松道上奔跑。即使是新手也可以一边欣赏荒川的自然美景，一边按照自己的步调来进行跑步。



樱花节

在石神井川、区立城北公园等地将举行樱花节。在绚烂盛开的樱花中感受春天的同时，进行热闹的赏花活动。其中部分地区还有夜间赏樱活动。



春の行事

赤塚梅まつり

毎年3月上旬に赤塚溜池公園付近で開催され、華やかな紅梅や気品ある白梅を見て、早春の香りを楽しむことができます。

当日は、会場周辺の郷土資料館や美術館でもイベントなどが催され、小学生や地域の人による武者行列や鷹匠による放鷹など、日本の伝統文化も披露しています。

板橋Cityマラソン

荒川沿いのフルマラソンコースを全国から1万人以上の参加者が駆け抜けます。初心者の方も荒川を自然を楽しみながら自分のペースで走ることができます。

桜まつり

石神井川や区立城北公園など各地域で開催します。咲き誇る桜に春の訪れを感じながら、お花見を楽しむことができます。中には、夜桜見物が出来る場所もあります。

夏日活动

夏の行事

板桥烟火大会

毎年8月上旬に荒川戸田橋上流、板橋側河床上举行烟花大会，会与对岸的户田市一起燃放合计约1万支的烟花，可以说是东京夏日的一道代表性的风景。另外，大会除了500m的尼亚加拉大瀑布外，还有绚丽多姿的烟花多发连射、震撼力十足的球形烟花等，看点十足。

毎年8月上旬に荒川戸田橋上流板橋側河川敷で開催される花火大会は、対岸の戸田市の花火と合わせて約1万発が打ち上げられ、東京を代表する夏の風物詩となっています。また、500mのナイアガラの滝のほか、カラフルなワイドスターマイン、迫力十分な尺玉の競演など、見所いっぱいの花火大会です。



いたばし花火大会

成増阿波舞蹈大会

为了庆祝营团地铁（现东京地铁）的开通，每年8月的第1个星期四在成増地区举行。在笛、钟、太鼓的伴奏中，队列中的人们载歌载舞。是消除夏日暑气充满活力的活动。



成増阿波おどり大会

営団地下鉄（現東京メトロ）の開通を祝い、毎年8月第1木曜日に成増地域で行われています。笛・鉦・太鼓のお囃子に合わせて大勢が列を作って踊ります。夏の暑さを吹き飛ばすような、活気あふれるイベントです。

意大利・博洛尼亚国际画册原画展

在意大利・博洛尼亚市举办的“博洛尼亚国际画册原画展”上的入选作品，每年7月，都会在板桥区立美术馆进行展示。展示期间，还会举办与画册有关的种种活动。



イタリア・ボローニャ国際絵本原画展

イタリア・ボローニャ市で開催されている「ボローニャ国際絵本原画展」入选作品を、毎年7月に板橋区立美術館で展示します。展示期間中は、絵本に関する様々なイベントが開催されます。

秋日活动

板桥区民节

是区内最大的活动，为了使故乡板桥成为团结互助、人人积极参与、心意相通的城市而举办的。以绿色大厅周边为中心，进行“阿波舞”“神輿”等表演，还有中小学生的音乐游行、物产展等各种出展、区民和交流城市的居民一起参与的舞蹈等，内容丰富多样、充满趣味性。



防灾训练

在地震多发的日本，众多生命消逝的关东大地震给了人们极大的教训，因此每年的9月1日被指定为防灾日。为应对灾害的发生，板桥区会进行灭火训练、避难训练等多种防灾演习，随时做好准备。



板桥步行大会

不同于竞技名次和时间的比赛，活动的内容为一直欣赏林荫树和绿色道路、公园等自然美景，一边漫步于板桥的街道进行探索。既可以使身心得到放松，又可以充分感受秋日的板桥。



农业节

板桥区虽然处于城市当中，植被却很多，即便是如今，也有从事农业的地区。每年11月，为了庆祝收获，都会举办农业节，节上会有蔬菜品评会、地方文艺表演等种种盛大活动。



农业节时的蔬菜宝船 / 農業まつりでの野菜の宝船

秋の行事

いたばし区民まつり

ふるさと板橋が連帯と参加に支えられた心の通い合うまちになることを願って催される、区最大の祭りです。グリーンホール周辺を中心に、「阿波踊り」「神輿」の競演、小中学生の音楽パレード、物産展や各種出展、区民や交流都市のみなさんの参加による踊りなど、様々な楽しい催しが行われます。

防災訓練

地震の多い日本では、多くの人が命を落とした関東大震災を教訓として、毎年9月1日が防災の日に指定されています。板桥区でも消火訓練や避難訓練など様々な防災訓練を行い災害時に備えています。

いたばしウォーキング大会

順位やタイムを競うのではなく、街路樹や緑道、公園などの自然を感じながら、板橋の街並みを歩いて探索するイベントです。心身共にリフレッシュしながら、秋の板橋を楽しむことができます。

農業まつり

板桥区は都市部にありながら緑が多く、現在も農業を行っている地区があります。毎年11月に、収穫を祝って農業まつりが行われ、野菜の品評会や郷土芸能など、盛りだくさんの行事が催されます。

冬日活动

冬の行事

成人日集会

成人の日の集い

毎年1月の第二个星期一，为了祝贺当年迎来20岁的居民，各地都会举行成人日集会。在日本，20岁就意味着长大成人，从此就拥有了选举权。

毎年1月の第二月曜日に、その年20歳を迎える人々を祝い、各地で成人の日の集いが行われます。大人としての自覚が求められる儀式です。



传统艺术节

伝統芸能まつり

使用地方艺术传承馆的团体，发表平时练习成果的活动。发表内容包括里神乐、和太鼓、民谣・舞蹈等，可以接触到各种传统文艺。

郷土芸能伝承館を利用している団体が、日頃の練習の成果を発表します。発表内容は里神楽・和太鼓・民謡・舞踊などで、様々な伝統芸能に触れることができます。



七草粥集会

七草粥の集い

由区内约70户农家组成的“板桥交流农园会”和板桥区共同举办的新年传统活动。用春日七草加区内产的蔬菜制作成板桥独有的七草粥，用来款待参加者。

区内約70戸の農家で構成される「板橋ふれあい農園会」と区が共同で行う新年の伝統行事です。春の七草に、区内産の野菜を加えた板橋区オリジナルの七草粥を振舞います。



主要设施

主要な施設

生态城市中心

为了实现人与环境共生的“生态城市板桥”，提供环境学习的场所、传播环境相关的信息、普及启发利于环保的新技术等。

人と環境が共生する都市「エコポリス板橋」の実現を目指し、環境学習の場の提供・環境情報の発信・環境にやさしい新技術の普及啓発を行っています。

エコポリスセンター



热带环境植物馆



在世界3大雨林中，以与日本有密切联系的东南亚为中心，展示了热带植物和鱼类等，再现了一系列的热带环境。关于热带和地球环境，还会举办多种主题的企划展示、演讲会等。

熱帯環境植物館

世界の3大雨林の中から、日本と密接な関係のある東南アジアを中心とした熱帯植物・魚類を展示し、一連の熱帯環境を再現しています。熱帯や地球環境について、さまざまなテーマで企画展示・講演会などのイベントも行っています。

教育科学馆

广泛推进科学相关知识的普及和启发，为了让承担未来、具有丰富创造性的青少年健康成长，以日常生活中的科学为主体，设置了能源、交通、通信、灾害・身体等5个领域的体验型常设展示，可以随意使用，感受乐趣。

広く科学に関する知識の普及・啓発を推進し、次代を担う創造性豊かな青少年の健やかな成長を図るため、身近な日常生活の中の科学をテーマに、エネルギー・交通・通信・災害・からだの5分野の体験型常設展示があり、誰でも気軽に楽しく利用できます。

教育科学館



植村冒险馆



植村冒险馆主要介绍，世界上最早登顶5大陆最高峰的世界级冒险家植村直也的事迹。通过展示植村先生的装备品和照片、冒险相关图书的借阅、自然体验等，将“植村精神”永远传播下去。

植村冒険館

世界初の5大陸最高峰登頂者となり、世界を代表する冒険家植村直己の業績を紹介する植村冒険館では、植村さんの装備品や写真を展示したり、冒険に関する図書の貸し出しや、自然体験を通じて「ウエムラ・スピリット」を永く伝えていく事業を行っています。

企业活性化中心

通过支援创业及区内中小企业的经营创新，以实现区内产业的活性化为目的，举办企业学习班、电脑讲座、创业座谈会以及各种咨询会。

創業支援および区内中小企業の経営革新支援を通じて、区内産業の活性化を図ることを目的とし、企業塾・パソコン講座・創業セミナーや各種相談を行っています。

企業活性化センター



美术馆



是东京都23区中最早设立的区立美术馆，举办了“江戸文化系列”、“意大利博洛尼亚国际画册原画展”、“20世纪检证系列”等独特的展览会。而且附近有很多史迹、植物等，是广受居民欢迎的散步路线。

東京都23区内初の区立美術館として開設され、「江戸文化シリーズ」や「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」「20世紀検証シリーズ」など、ユニークな展覧会を開催しています。付近には史跡や植物も多く、区民に親しまれる散歩コースとなっています。

美術館

地方资料馆

收藏区内出土的土器、中近世的文书及木版画・驿站町等历史资料，以及农具、民具等民俗资料、照片资料、庚申塔等石造文化财产，以“生存”“生活”“战争”为主题的常设展，使用映像和模型来展示板桥的历史。



区内出土の土器、中近世の文書や絵馬・宿場町関係資料などの歴史資料や、農具・民具などの民俗資料、写真資料、庚申塔などの石造文化財を收藏し、常設展示では、「生きる」「暮らす」「戦う」をテーマに、映像や模型を使いながら板橋の歴史を展示しています。

郷土資料館

教育支援中心



是提高教员的指导能力，改善授课质量的设施。作为有充分的“研究”和“研修”只能、以及来自儿童、学生、家长等的教育相关问题进行“相谈”的设施，同时也作为板桥区公立学校园区的中枢来发挥其职能。


教員の指導力向上を図るため、授業改善を目的とする「研究」「研修」機能、児童・生徒・保護者などからの教育に関する「相談」機能を充実させた施設として、板橋区の公立学校園の中枢としての役割を担います。

教育支援センター



板桥区为了推进世界和平与国际化进程，与众多外国城市进行积极的交流。不仅与多个地区的国家和城市缔结了姐妹或者友好城市关系，还作为国际合作的一环，积极接收行政视察以及其他众多外国游客。

板桥区は、世界平和と国際化を推進するため、多くの外国都市と積極的な交流を行っています。様々な地域の国や都市と姉妹・友好都市関係を結んでいるほか、国際協力の一環として、行政視察など多くの外国人訪問者を受け入れています。

 **加拿大・伯灵顿市**
カナダ・バーリントン市

1989年，与加拿大安大略州的伯灵顿市缔结了《姐妹城市协议》，通过区民旅行团、区民寄宿等活动，来促进区民层面的交流。



1989年、カナダのオンタリオ州バーリントン市と「姉妹都市提携」を締結し、区民ツアーやホームステイなど、区民レベルの活発な交流を行っています。

区内所看到的伯灵顿市

1999年，为纪念姐妹城市协议缔结10周年，收到了与伯灵顿市政厅前的路灯钟相同的钟表。命名为“伯灵顿友好钟表”，并将其设置在市政府正门前。

区内で見られるバーリントン市

1999年、姉妹都市提携10周年を記念し、バーリントン市庁舎前に設置されている街路時計と同じ時計が贈られました。「バーリントン友好時計」と命名し、区役所正面玄関前に設置しています。



 **蒙古国**
モンゴル国

由支援笔记本和铅笔开始，逐渐发展为文化、人员的交流，1996年，蒙古国文部省（当时）与板桥区缔结了《文化・交流协定》，开始了合作与交流。

ノートと鉛筆の支援から始まった交流が文化的・人的交流へと発展し、1996年、モンゴル国文部省（当時）と板橋区は「文化・教育交流協定」を締結、協力と交流を続けています。



区内所见到的蒙古国

在蒙古相扑力士曾访问过的志村第三小学，设置有展示马头琴、蒙古包、民族服装等“蒙古教室”，很受孩子们欢迎。

区内で見られるモンゴル国

モンゴル相撲力士が訪問したこともある志村第三小学校では、馬頭琴・ゲル・民族衣装などを展示した「モンゴル教室」を設置し、児童に親しまれています。





中国・北京市石景山区
中国・北京市石景山区

在1997年中日邦交正常化25周年之际，与石景山区签订了《关于友好交流・合作关系的合约书》，并一直进行着区民旅行团和文化团体访问等居民层次的活跃交流。



日中国交正常化25周年にあたる1997年、石景山区と「友好交流・協力関係に関する合意書」に調印し、区民ツアーや文化団体訪問など区民レベルの活発な交流を続けています。



区内所见到的石景山区

纪念缔结友好交流协定时，种于舟渡水边公园的日中“友好之柳”，在交流超过15周年的今天，已经长成了需要抬头仰视的大树。

区内で見られる石景山区

友好交流協定の締結記念に舟渡水辺公園に植樹した「友好の柳」は、15周年を超える交流を経た現在、見上げる程の大木となっています。



意大利・博洛尼亚市
イタリア・ボローニャ市

1981年区立美術館举办了“第1届博洛尼亚画册”之后，以画册为媒介的交流得以延续，2005年7月，两地缔结了《友好城市交流合作协议》。板桥区役所每年都会举办展示获赠于博洛尼亚的儿童图书的“博洛尼亚书籍展览会 in 板桥”。

1981年に区立美術館で「第1回ボローニャ絵本原画展」を開催して以来、絵本を通じた交流が続き、2005年7月、「友好都市交流協定提携」を締結しました。板桥区役所では、ボローニャ市より寄贈を受けた児童図書を表示する、「ボローニャ・ブックフェアinいたばし」を毎年開催しています。



区内所见到的博洛尼亚

板桥博洛尼亚儿童画册馆，藏有获赠于博洛尼亚的约85多个国家的约2万5千本画册。还会举办画册和连环画剧的读书会等活动。

区内で見られるボローニャ市

いたばしボローニャ子ども絵本館は、ボローニャ市より寄贈された約85カ国2万5千冊の絵本が楽しめる施設です。絵本や紙芝居の読み聞かせなども開催しています。



马来西亚・檳城
マレーシア・ペナン州

1994年，区立热带环境馆与檳城植物园签订了《关于友好合作的共同声明》之后，展开了植物交换等交流活动。

1994年、区立熱帯環境植物館とペナン植物園が「友好提携に関わる共同声明」に調印、以来植物の交換など交流を続けています。



区内所见到的檳城市

在热带植物馆内，可以看到通过植物交换来到板桥区的植物，并且与马来西亚的热带雨林进行亲密接触。

区内で見られるペナン市

植物の交換事業で寄贈された植物など、熱帯環境植物館では、マレーシアの熱帯林に触れることができます。



传统工艺品

在板桥区内，至今仍有传承着传统之“技”的匠人们。虽然如今在日常生活中使用这些传统工艺品的家庭变少了，但我们希望将传统工艺的“技”与“心”，以及手工制作的精良性一直传承下去。

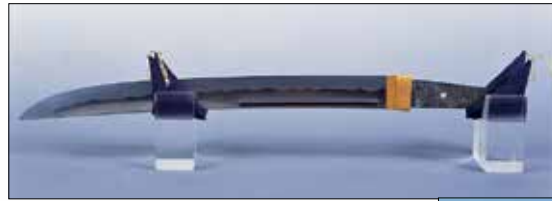
伝統工芸品

板橋区内には、今なお日本の伝統的な「技」を伝える職人たちがいます。今日ではこうした伝統工芸品を毎日の生活で使う家庭は少なくなりましたが、私たちは伝統工芸の「技」と「心意気」、そして手づくりの良さをいつまでも残していきたいと願っています。

白银制作（菅原静雄）

しろがねせいさく すがわらしずお
白银制作（菅原静雄）

日本刀在把刀身收入刀鞘时，为了防止接触到刀鞘，以及为了固定剑柄和刀身，而需要使用刀鐔。白银师是根据客人要求，按照不同的素材或者流派，来制作刀鐔花纹的人。



日本刀では、刀身を鞘（さや）に納めた際に鞘に触れるのを防いだり、柄（つか）と刀身を固定したりするための金具として鐔（はばき）というものが使用されています。この鐔を、注文に応じて素材の使い分けや流派による模様拵えで制作するのが白银師です。



手描友禅（寺泽森秋）

てがきゆうぜん てらさわもりあき
手描友禅（寺泽森秋）

特征为：画师根据购买者的愿望或想法进行设计，从图形描绘到最终成品的整个作业过程全凭一人之力完成。

特徴は、購入者の希望やイメージを絵師がデザイン化し、模様描きから仕上げまでの作業工程をほぼ一人でこなしていく点です。



甲冑（三浦公法）

甲冑（三浦公法）

三浦先生的工作，是基于时代的考证，对平安时期到江户时期的甲冑进行精密的复原。从繁琐的零件制作到最后的组合，庞大的整个工程均由一人完成，一部作品的完成往往要耗费3年以上的时间。

三浦さんの仕事は、平安期から江戸期にかけての甲冑を、時代考証に基づいて精密に復元創作することです。細かい部品作りから最後の組立に到るまでのほぼ全工程をほとんど一人で手がけるというもので、一作品の完成に3年余りの歳月を費やします。



木彫刻（佐藤昌月）

木彫刻（佐藤昌月）

随着寺庙神社建筑所用到的柱子和装饰、佛像的制造而发展起来。作风纤细流利，流畅紧凑的表情是一大特征。

寺社建築の柱や装飾、仏像製造に伴い発展しました。その作風は繊細かつ流麗で、スッキリと締まった表情に特徴があるとされています。



龟甲工艺（冈匡巳）

使用海龟玳瑁的甲壳作为素材，切割成形后用锉刀等工具修正表面，同时通过加热、刀削等方式塑形。在长崎、大阪、东京这3大产地中，江户龟甲的特色在于复杂的精细工艺与商品上绘制的奢华的泥金画。



鼈甲細工（岡匡巳）

素材の海亀タイマイの甲羅から部品の形を切り出し、やすりなどで表面を整え、熱を加えたり削ったりしながら形づくりします。長崎・大阪・東京が日本の3大産地で、中でも江戸鼈甲の特色は、複雑な細工と豪華な蒔絵を施している点にあります。

毛笔（佐久间末男）

江戸笔的特点是，整个制作过程全由一名匠人担当。这是江户匠人对制笔产生的独特价值观，并在高级笔的制作中找到了出路。



筆（佐久間末男）

江戸筆の特徴とは、製作工程のすべてを一人の職人が手がけることです。このことが、江戸職人の筆作りに対する独特な価値観を生み、高級筆の製造に活路を見出したとされています。

传统文艺

传统文艺是一种传承过去人们的生活、文化至今的重要文化财产。各种各样的传统文艺由保存会进行传承，并借祭奠、区活动等进行展示。

田游

田游是平安时代中期行成的一种淳朴的祭神仪式，是每年年初时为了祈祷当年五谷丰登、子孙繁荣而纳奉神灵的一种仪式。从播种到收获的一系列耕作内容，通过舞蹈或田歌的形式来再现。有着提前祈祷丰年的“预祝”含义在其中，如今，每年2月上旬时，此活动都在德丸北野神社和赤塚諏访神社院内举行。



田遊たあそ

田遊たあそは平安時代中期に成立したとされる素朴な神事で、年の初めにその年の豊穡と子孫繁栄を祈願し、神に奉納する行事です。種まきから収穫に至る一連の稲作の作業内容を、所作と唱える言葉によって再現します。豊作をあらかじめ祈願する「预祝（よしゆく）」の意味を持っており、現在は、2月中旬に徳丸北野神社と赤塚諏訪神社の境内で行われます。

节日囃子

在地区庆典或庆祝活动时演奏的日本自古流传的传统音乐，使用大太鼓、締太鼓、笛、钟等乐器演奏。

囃子在江戸近郊の赤塚・徳丸・西台・中台・小豆沢・前野等地流传甚广。

区内有神田流和葛西流，其中神田流的弥生囃子和神明囃子被指定为区内的非物质文化遗产。



祭り囃子まつりばやし

地域の祭りや祝い事の席で演奏される日本古来の伝統音楽で、大太鼓やしめ太鼓、笛、鉦などの楽器で演奏されます。

囃子は、江戸近郊の赤塚・徳丸・西台・中台・小豆沢・前野に広がりました。

区内には神田流と葛西流があり、神田流の弥生囃子・神明囃子は区の無形文化財に指定されています。

里神乐

里神乐是各神社祭礼中为了奉纳神灵而表演的歌舞。成増の里神乐由农民表演，现在依然保留着这种形态，有保存会在各种祭礼上进行展示。



里神楽さとかがら

里神楽は、各神社の祭礼の折に神に奉納するために奏される歌舞です。成増の里神楽は、農民による神楽で、現在でもその形態が継承され、保存会が様々な祭礼などで奉仕しています。

四竹舞

此舞蹈是为了慰藉先灵、同时作为自我娱乐而流传开的盂兰盆舞的一种。两手各持两枚竹片，一边击打，一遍和着种田歌等劳动歌曲而起舞。区内往往在德丸、大门地区举行。



四つ竹踊り

この踊りは、先祖の霊をなぐさめるため、また自身の娯楽として広まった盆踊りの一つといわれています。両手に持った竹二つを鳴らしながら、田植え歌などの労働歌にあわせて踊ります。区内では、徳丸や大門地区で行われています。

獅子舞

獅子舞是一种在神社表演的舞蹈，主要是驱除瘟疫，祈祷五谷丰登、村内安稳、无病消灾。有三头狮子鸣响太鼓，和着笛声和歌声舞动，是一种雄武又优雅的文艺表演。

如今这种舞蹈在德丸北野神社和赤塚諏訪神社传承。关东地区的三头狮子舞最为多见，起源时间大致为江户中期。



獅子舞

獅子舞は悪疫をはらい、豊穰・村内安穩・無病息災を願って神社に奉納します。三頭の獅子が太鼓を打ち鳴らし、祭り囃子や歌に合わせて舞う勇壮にして優雅な芸能です。

現在は徳丸北野神社と赤塚諏訪神社に伝承されています。関東地域では、三頭の獅子による舞が一般的ですが、起源は江戸時代中期であるといわれています。

大门打年糕

旧赤塚大门地区流传的集体打年糕的起源并不清楚，但在江户时代中期时却盛极一时。

伴随着打年糕歌，通过多人一起制作年糕，可以体现地区居民的和睦、团结，并祈祷丰收与繁荣。

打年糕的习俗各地有所不同，板桥区内地都会进行这种活动。



大門餅つき

旧赤塚大門地区に伝わる集団餅つきで起源ははっきりしませんが、江戸時代中期頃盛んであったようです。

餅つき歌にあわせて何人かで集団になり餅をつくことで、地域住民の親睦・結束をはかり、豊穰・繁荣を祈ります。

餅つきは地域によって違いはありますが、板橋区内各地で行われています。

说经浄瑠璃

说经浄瑠璃，由僧人们为了使经典等更通俗易懂而进行的说经活动演变而来。江户时盛行的说经浄瑠璃，由住在板桥的若松若太夫传承下来，并一直延续至今。



説經浄瑠璃

説經浄瑠璃は、僧が經典などについて容易に説明して聞かせる説經から生まれたものです。江戸時代に盛んであった説經浄瑠璃は、板橋に住んでいた若松若太夫によって伝承され、現在に至っています。

板桥区的组织以首长制为基础，作为决议机构的议会和作为执行机构的区长均通过居民的直接选举而产生，在各自的职务权限内直接对居民承担责任。

区长等执行机构拥有行政权，可以决定一些不在议会权限内的问题，执行事务等。

另一方面，议会拥有立法权，可以制定相关条例，并举行预算决议等决定重要区政问题的活动。

板橋区の組織は首長制に基づいており、執行機関たる区長と議決機関たる議会がともに住民の直接選挙で選任され、それぞれの職務権限について直接住民に責任を負っています。

区長等の執行機関は行政権を有し、議会の権限に属さないその他の意思決定を行い、事業を執行します。

一方、議会は立法権を有し条例を制定するとともに、予算の議決など区政の重要な意思決定を行います。

执行机构（区长部局・行政委员会・监察委员）

執行機関（区長部局・行政委員会・監査委員）

a. 区长部局

区长是板桥区作为地方公共团体的统管者及代表人。由居民直接选举而出，任期为4年。区长之下是辅佐区长统管区政以及在区长发生事故时，代理事务的副区长。区长部局由执行基本计划的制定、职员人事、税金、危机管理、社区、文化、产业经济、保健卫生、福利、育儿支援、环境、城市建设等政策的部门和科室组成，对区长进行辅佐。区长部局的事务当中，国民年金事务和国民健康保险等事务，属于受国家委托执行的法定受托事务。

a.区長部局

区長は地方公共団体としての板橋区を統括し代表します。住民の直接選挙で選出され、任期は4年です。区長の下には区政の統括を補佐し区長に事故があった場合にはこれを代理する副区長がおかれます。区長部局には、基本計画の作成・職員人事・税金・危機管理・コミュニティ・文化・産業経済・保健衛生・福祉・子育て支援・環境・まちづくりなどの施策を執行する部・課があり、区長を補佐しています。区長部局の事務のうち、国民年金事務及び国民健康保険等の事務は国の事務を受託して執行する法定受託事務です。

b. 行政委员会

为了确保脱离政治的中立性行政运营，行政委员会是独立于区长的地位和权限，执行特定事务的执行机构。

①教育委员会

执行中小学的管理、教育课程、决定教材以及教职员的身份处理等相关事务，同时，也管理和执行社会教育、保护文化财产等相关事务。

②选举管理委员会

管理及执行区内的选举事务以及东京都・国家的选举事务（法定受托事务）。

③农业委员会

执行农用地转用的申请受理、许可等农政事务。

b.行政委員会

行政委員会は、政治から独立した中立的な行政運営を確保するため、区長から独立した地位と権限をもって特定の事務を執行する執行機関です。

①教育委員会

小学校・中学校等の管理、教育課程や教材の決定、教職員の身分取り扱い等に関する事務を行うとともに、社会教育、文化財の保護等に関する事務を管理し執行します。

②選挙管理委員会

区の選挙事務及び都・国の選挙事務（法定受託事務）を管理・執行します。

③農業委員会

農地転用の届出受理・許可など農政事務を執行します。

c. 监察委员

执行职权内的一般监查及基于居民或议会请求的特别监查，监督区政的正确执行。

c.監査委員

職権による一般監査や住民や議会の請求に基づいた特別監査を行い、区政の適正な執行を監視します。

板桥区议会，由作为居民代表被选出的 46 名议员组成。议员任期为 4 年。各议员隶属于各党派，开展议会活动。

区议会会对区长或议员提出的相关条例的制定改废以及区长提出的预算案进行审议和决议。此外，议会还拥有调查权，关于区政的种种问题，可以要求证人出席及提交证据、进行调查和审议。

例会每年举办 4 次，在必要时召集举行临时会议。除了正式议会之外，还设置有详细且专门检讨议决事项的 5 个常任委员会和议会运营委员会。必要时还会设置特别委员会。

为了使区民可以对议会自由发表意见，并准确的反映在区政中，议会提供“陈清”、“请愿”、“公听会”的手续。议事录和议事手续也都向区民公开。

板橋区議会は、区民の代表として選挙で選ばれた46名の議員から構成されています。議員の任期は4年です。各議員は党派に所属して議会活動を行います。

区議会では区長や議員が提出する条例の制定改廃や区長が提出する予算案について審議し、議決します。また、調査権を有し、区政の様々な問題に関して、証人の出席や証拠の提出を求め、調査や審議を行うことができます。

定例会は、1年に4回開会され、臨時会は必要が生じたときに召集されます。本会議のほかに議決事項を詳細かつ専門的に検討する5つの常任委員会と、議会運営委員会が設置されています。必要に応じて特別委員会が設けられます。

区民には、議会に対して意見を自由に表明し、区政に適切に反映させることができるように、「陳情」「請願」「公聴会」の手続きが提供されています。議事録や議事手続きは区民に公開されています。



正式议会／本会議の様子

组织图 組織図



〈板桥区平和城市宣言〉

实现世界的永远和平 是人类共同的愿望
然而 现实中 扩充核军备竞争等愈演愈烈 人类甚至面临灭亡的
风险

我们 作为世界上唯一的核爆国国民 以及 从日本的宪法精神出
发 向全世界人民呼吁不要让广岛、长崎的惨祸重演 为了实现世
界和平 务必发挥积极的作用

板桥区及板桥区居民 在此宣言 将基于宪法高度提出的和平交
流主义的理念 以创建绿色的文化城市为目标 坚持非核三原则
向全世界呼吁核武器的废除 创建和平的城市

1985年1月1日 板桥区



和平記念像／平和記念像

〈板桥区平和都市宣言〉

世界の恒久平和を実現することは 人類共通の願いである

しかるに 現実には 核軍拡競争が激化の様相を示し 人類の滅亡さえ危惧されるところである

われわれは 世界で唯一の核被爆国民として また 日本国憲法の本質からも 再び広島 長崎の惨禍を絶対繰り返しては
ならないことを強く全世界の人々に訴え 世界平和実現のために 積極的な役割を果たさなければならない

板桥区及び板桥区民は 憲法に高く掲げられた交流平和主義の理念に基づき緑豊かな文化的なまちづくりを目指すとともに
非核三原則を堅持し 核兵器の 廃絶を全世界に訴え 平和都市となることを宣言する

昭和60年1月1日 板桥区

〈“生态环境城市”环境城市宣言〉（摘录）

我们板桥区民 为了创造真正舒适的环境 在此宣
言将努力实现人与环境共生的“生态环境城市”

1993年4月1日

〈「エコポリス板橋」環境都市宣言〉（抜粋）

私たち板桥区民は 真に快適な環境を創造するために 人と環
境が共生する都市「エコポリス板橋」の実現を目指していくこ
とをここに宣言します

平成5年4月1日

〈交通安全城市宣言〉（摘录）

我们板桥区民 为了努力实现没有悲惨的交通事故
安全的适宜居住的城市 在此宣言成为交通安全城市

1993年7月1日

〈交通安全都市宣言〉（抜粋）

わたしたち板桥区民は 悲惨な交通事故のない 安全で住みよ
いまちの実現を目指して ここに交通安全都市を宣言します

平成5年7月1日

〈板桥健康福利城市宣言〉（摘录）

板桥区及板桥居民 以实现终生健康和福利完善的
城市为目标 在区民宪章的基础上共同努力创造具
有生存价值和富裕的健康生活 在此宣言成为健康
福利城市

1996年4月1日

〈いたばし健康福祉都市宣言〉（抜粋）

板桥区及び板桥区民は 区民憲章のもとに生きがいとゆとりを
もった 健康な生活がおくれるようともに協力して 生涯を通
じた健康づくりと福祉のまちづくりをめざして ここに健康福
祉都市を宣言します

平成8年4月1日

〈板桥生活安全城市宣言〉（摘录）

板桥区及板桥区民 为了实现安全安心的城市 在
此宣言成为生活安全城市

2005年7月1日

〈いたばし生活安全都市宣言〉（抜粋）

板桥区及び板桥区民は 安全で安心なまちの実現をめざして
ここに生活安全都市を宣言します

平成17年7月1日

板桥区的象征

シンボル



区树：榉树
区の木：ケヤキ

“榉树”自古以来就是武藏野杂木林中的代表职务，原产地日本。是属于榆科的落叶乔木，高度可达 30cm，树干笔直生长，作为日益发展中的板桥区的象征十分合适。
(1980 年 1 月 1 日指定)

「ケヤキ」は古くから武蔵野の雑木林を代表するもので、日本が原産地です。ニレ科の落葉高木で、高さ30mに達し、樹幹はまっすぐにのび、ますます発展する板橋区を象徴するにふさわしい木です。
(昭和55年1月1日指定)



区花：鹅掌草
区の花：ニンソウ

毛茛科的多年生草本植物，多见于杂木林等的树荫处，春天，15cm 左右高的草径上，盛开出两朵可爱的小白花。板桥区会一直重视此花生长的自然环境，精心将其呵护培育下去。
(1980 年 10 月 4 日选定)

キンポウゲ科の多年草で、雑木林などの緑陰に多く見られ、春15cmほどの草丈に、白いかれんな花を二輪咲かせます。区では、この花が生育する自然環境を大切に守り育てていきたいと考えています。
(昭和55年10月4日選定)



区鸟：水鹳鸫
区の鳥：ハクセキレイ

全长 21cm 左右，黑白分明的鸟，属于雀目鹳鸫科。在水域丰富的板桥区内一年都很多见，而板桥区是以“生态城市板桥”的环保主题为目的的，就这一点来说，是最相配的鸟。
(平成 14 年 10 月 1 日制定)

全長21cmほどで、白と黒のコントラストがはっきりしたスズメ目セキレイ科の鳥です。水辺の豊富な区内では一年中見ることができ、環境にやさしい「エコポリス板橋」をめざす板橋区にふさわしい鳥です。
(平成14年10月1日制定)

区徽
区の紋章



区徽由「イタバシ」の文字图案化而来，中央圆的左半部分为「イ」，右半部分为「タ」，圆的四面是「ハ」，4 个组合起来之后分别表示「ハシ」(桥)，象征着板桥区有着无限可能的发展前景。

(1952 年 4 月 1 日制定)

「イタバシ」の文字を图案化したもので、中央の円の左が「イ」、右が「タ」、円の四方に「ハ」、を4個組み合わせ「ハシ」をそれぞれあらわし、板橋区の限らない発展を象徴しています。

(昭和27年4月1日制定)

正式徽标

オフィシャルロゴ



板桥的徽章是以区鸟「水鹳鸫」、区花「鹅掌草」、区木「榉树」为主题制作而成。

板桥区制实行 80 周年之际制定的。

(2012 年 10 月制定)

図柄は、区の鳥「ハクセキレイ」区の花「ニンソウ」区の木「ケヤキ」をモチーフとしています。

板橋区制施行80周年を迎えるにあたり、制定しました。(平成24年10月制定)





板桥区

板桥区役所 文化・国際交流課
〒173-8501 東京都板桥区板橋 2-66-1
TEL (03) 3579-2018 FAX (03) 3579-2166
Email:kb-bk-kanri@city.itabashi.tokyo.jp

2017年5月発行